

日野川水系大規模氾濫時のタイムライン 第7回検討会議事概要

日時：令和4年12月1日 13:30～16:00

場所：WEB会議形式（Teams）

日野川河川事務所 別館2F 会議室

【出席者】

- ・米子市 防災安全課、道路整備課、水道局
- ・南部町 総務課
- ・鳥取県 河川課、米子警察署、黒坂警察署、西部広域行政管理組合消防局
- ・気象庁 鳥取地方気象台
- ・福祉施設 なんぶ幸朋苑、よなご大平園、博愛苑、米子ワークホーム
- ・ライフライン 中国電力ネットワーク(株)米子ネットワークセンター変電課、米子ガス(株)導管事業部
- ・通信インフラ NTT西日本(株)鳥取支店
- ・報道機関 日本海テレビジョン放送(株)報道制作局
- ・国土交通省 倉吉河川国道事務所
- ・国土交通省 日野川河川事務所

【議事概要】

進行：日野川河川事務所 稲田事業対策官

1. 開会挨拶（鳥取大学 黒岩教授）
2. 令和4年度の振り返り（パシフィックコンサルタンツ(株)）
3. 事前アンケート結果について（同上）
4. 日野川水害タイムラインの改善に向けた意見交換（同上）
 - テーマ1：情報統制について
 - テーマ2：タイムラインレベル発動・移行時の情報発信内容について
 - テーマ3：タイムライン解説動画、学習サイトについて
 - テーマ4：オンライン情報共有について
 - テーマ5：マルチ画面お気に入り機能について
5. 今後の予定（日野川河川事務所 稲田事業対策官）
 - 「日野川水害タイムライン（令和4年度）」の意見照会について
6. その他（同上）
 - 参画機関とメーリングリスト登録アドレスの確認について

7. 質疑応答（同上）

- 鳥取大学 黒岩教授
 - ・ 本年度の千代川・天神川のタイムライン発動状況をお聞きしたい。
- 日野川河川事務所 稲田事業対策官
 - ・ 台風第11号、台風第14号の際は、鳥取県内3河川のタイムラインは同じタイミングで発動した。
 - ・ 前線による大雨の際はタイミングの予測が難しいため河川毎に発動した。
- 鳥取大学 黒岩教授
 - ・ 鳥取県の東部・中部・西部のいずれかで被害が発生した場合、その他の地域からTEC-FORCEの派遣等の支援が必要となる。
 - ・ そのような状況を想定し、3河川でタイムラインの状況を共有してはどうか。
- 日野川河川事務所 稲田事業対策官
 - ・ タイムラインの発動・レベル移行は日野川河川事務所と気象台で調整し、その結果を鳥取河川国道事務所と倉吉河川国道事務所に共有している。
- 日野川河川事務所 稲田事業対策官
 - ・ 台風第11号の際は中国地方全体で調整し、全ての直轄河川がタイムラインを発動した。日野川流域では、大きな出水に至らずに、“空振り”になったとも考えられる。
- 鳥取大学 黒岩教授
 - ・ タイムラインを発動したが大規模な出水に至らなかった場合、“空振り”ではなく、“素振り”と捉えて、実働的な訓練の機会となったと考えた方がよい。
 - ・ 事前アンケートでは「メーリングリストに発出されたメールを確認しなかった」との回答が見られた。メールの見落としによって避難情報の発令が遅れた事例もあるため、見落としが無いようにしていただきたい。

8. 講評（鳥取大学 黒岩教授）

- ・ 出水時は多くの情報が発信されるため、情報の受け手は取捨選択が難しいと思う。情報の取捨選択方法について、マニュアル化するのも一つの方法だと思う。
- ・ タイムラインレベル発動・移行時のメールへの「次のメール発信予定」の記載は、関係機関が次の行動を取る目安とできるため、良い取組と思う。
- ・ タイムライン解説動画、学習サイトは、自治体は特に異動が多いため、担当者の引継ぎに有効だと思う。
- ・ 出水時は各機関の防災対応で忙しく、オンライン情報共有へ参加できない機関もあると思う。各機関の対応状況を踏まえて開催を判断してはどうか。
- ・ タイムライン情報提供システム（スマートフォン版）の構築が予算の都合で難しい場合、これまで通り一般的な防災情報に関するアプリ等を活用して情報を確認いただきたい。

9. 閉会挨拶（日野川河川事務所 稲田事業対策官）

- ・ 本日頂いた意見を踏まえて、今後のタイムラインの改善について検討する。